



# チャペルニュース Chapel News No.151

2024年4月1日

入学・進級号



宗教部長

原田 浩司

## LIFE LIGHT LOVE (いのち 光 愛)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。東北学院大学でのキャンパスライフがいよいよ始まります。そこで皆さんにはまず、東北学院大学がどういう大学であるのかをきちんと理解していただく必要があります。

皆さんが入学した東北学院大学は今から百三十八年前に、押川方義先生と米国人宣教師ウィリアム・ホーイ先生の二人が始めた「仙台神学校」が歴史の始まりです。そして、翌年来日したデイビッド・シュネイダー宣教師がこれに加わり、その後「東北学院」に改称し、今日に至ります。つまり、東北学院は創設以来、百三十八年の長きにわたってキリスト教の信仰に基づく教育を仙台で実践してきたのです。新入生の皆さんは、この東北学院の歴史の継承者であると共に、次の未来の新しい一頁を開く担い手です。

本学の教育方針は、福音主義キリスト教に基づく人格形成にあります。特に、各学生の人格形成に不可欠な要素として「LIFE LIGHT LOVE」という聖書に由来する三つの英単語をスクーリング・モットーとし、大学礼拝と必修のキリスト教関連科目を通して、人格に益する幅広い価値観に触れていただきます。

本学は総合大学ですから、学生の皆さんは四年間を通して幅広い高度な教養、知識、技術を学ぶことができます。聖書には「知識は人を高ぶらせるのに対して、愛は人を造り上げます」(一コリ、八・二)と記されています。教養を深め、知識を得ることは学生にとって非常に大切な課題ですが、今日の世界に切に求められるのは「人を造り上げる」愛です。生きるとは何か、愛するとは何か、など人間にとって根本的な課題に聖書を介して正面から向き合うのが東北学院大学のキリスト教教育の特徴です。

始まったばかりの学生時代はそれぞれの人生にとって貴重な期間です。本学で学ぶ皆さん一人ひとりが「いのち 光 愛」を豊かに学び、仙台から「地域へ、世界へ」貢献する姿勢を体得し、変動する時代状況の中、聖書の不変の精神を携え、互いに助け合い共生する平和世界を築く人として豊かに成長できるよう、祈念します。

# 新しい東北学院大学へようこそ

学長 大西 晴樹



入学おめでとうございます。皆さんは、土樋・五橋の「都心型ワンキャンパス」で四年間の学生生活を過ごし、なかには、昨年開設された四学部（地域総合学部・情報学部・人間科学部・国際学部）の第二期生となる新入生もいます。

東北学院大学は、新しい環境のもとで、新しい学問を修めることができる大学であると同時に、建学以来百三十八年間、「キリスト教に基づく人格教育」を建学の精神として堅持してきました。なぜ、キリスト教による人格教育を大切にして来たかという点、この建学の精神は、人間と人間の関係、人間と自然の関係、科学技術を考えるうえで、大切な示唆を与えているからです。二十一世紀も Society 5.0 に突入し、瞬時の大量処理、グローバルな展開という時代を迎えており、学問においても最先端の科学技術を学ばなければなりません。しかしながら、人間がそれらの科学技術を行使し、人間や世界や自然を支配しようとしても、残念ながら、不和と憎しみを生み、貧富の格差を増大

させ、自然環境を破壊し、疫病や戦争をもたらしているのが現実ではないでしょうか。極言すれば、科学技術を行使して人間が神に近づこうとしても、結果として、人類や地球の滅亡を招くのではないかと懸念してしまいます。

東北学院は「智徳併行」の大学です。それぞれ専門分野を修得すると同時に、建学の精神であるキリスト教の学びを通じて、神と自分とは何か、罪とは何か、愛とは何か、救いや希望とは何か、自然とは何か、平和とは何かについて深い洞察力を養ってほしいと願っています。私は、深い洞察力をもち、愛を実践する人格によってのみ本当の未来が拓かれるのだらうと確信しています。

築九十二年を数えた土樋の由緒あるラーハウス・ザイ記念東北学院礼拝堂に出席するもよし、新しい押川記念館の押川記念ホールに出席するもよし、皆さんが聖書を読み、大学礼拝を通して「心の基礎力」を身に付けた学院生として成長されんこと切にお祈りしています。

# Campus messages

## 各担当の先生たちからのご挨拶



Tsuchitoui



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。進級されたみなさん、おめでとうございます。新しい時の始まりにおいて、大きな希望や熱意を持たれていることと思います。この一年、豊かな出会いと深き学びの時が与えられ、大きな成長がありますことをお祈りいたします。

さて、みなさんが過ごす東北学院大学は、百三十八年の歴史を持つ大学です。今年、第三十三回夏季オリンピックがパリで開催されますが、第一回夏季オリンピックがアテネで開催されたのは一八九六年でした。東北学院大学は、それよりも十年早い一八八六年に創立された大学です。百三十八年の長い歴史の中では、様々な時代の変化があり、また、大学も大きな変化を繰り返してきました。

その中でも、決して変わらずに続けられてきたものが大学礼拝です。礼拝では、聖書の言葉を聞き、キリスト教思想・文化に触れる機会があります。土樋キャンパスでは、一九三二年に献堂されたラーハウザー記念東北学院礼拝堂で一時間目と二時間目の間に実施されます。

大きな変化を迎えている今の時代を生き抜くために必要なもの、携えていくべきものを見つける機会となると思います。礼拝の時間を共に過ごせることを楽しみにしています。



土樋担当  
大学宗教主任  
大門 耕平

Itsutsubashi



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。創立百三十八年を迎える東北学院は、建学の精神であるキリスト教主義に基づく人格教育をおこなってきました。その伝統は毎日の礼拝、キリスト教系の授業によって受け継がれています。

キリスト教と聞くと難しいもの、私には関係のない宗教と思う方もかもしれません。しかし西洋の文化的土台を築いたキリスト教は、皆さんの生活の中に浸透しています。日曜日が休日であることはキリスト教の安息日から来ています。またクリスマスは祝う人もいるでしょう。私たちにとってキリスト教は、実は身近な存在なのです。

毎日の礼拝は、パイプオルガンの前奏から始まり、賛美歌を歌い、聖書のお話しを聞き、祈ります。わずか15分ほどの時間です。しかしその時間、日常の忙しさを忘れて、心静かに、オルガンの音、そして聖書の言葉を聴きます。卒業生の多くが、礼拝の時間が良い思い出と語ります。それは、慌ただしい生活から一時離れ、本当に大事なことは何か、考え思い出す時間だからです。学生の皆さんと礼拝で、お会いできることを楽しみにしております。



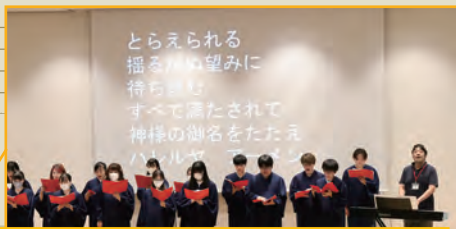
五橋担当  
大学宗教主任  
椎名 雄一郎



一緒に歌う楽しさ、

響き渡る声♪

久しぶりに全員で歌った「ハレルヤ」(公開クリスマス)



今年から新しくはじまったTGCFの活動に参加!



久しぶりの夏合宿、来年はもっとたくさんの人が参加できますように!



新しい五橋キャンパス、クリスマスツリー点灯式



新しい五橋キャンパス、押川記念ホールでの大学クリスマス

## 新たな学びの場で——これからの聖歌隊

choirmaster

合唱指導者

中川 郁太郎

宗教部聖歌隊は、建学の精神に基づき、大学礼拝やクリスマスで賛美を捧げてきました。

2020年の新型コロナウイルス感染症の流行以来、聖歌隊は歌声を絶やさないためにZoomを使ったりモット練習や、合唱動画収録など様々な試みをおこなってきましたが、2022年度の4月からは感染症対策に十分気をつけながら対面での活動ができるようになり、昨年度は7月と9月に学生の企画によるミニコンサート、8月には久しぶりに夏合宿をおこなうことができました。これからも学生主体の活動がますます盛んになっていくことを願っています。

特に昨年度から聖歌隊は、土樋キャンパスとともに新しい五橋キャンパスの行事やクリスマスでも歌声を響かせています。合唱経験のない人には新しい活動を始めるチャンス、合唱経験者には高校までの合唱活動をさらに先に進めるチャンスとなるように、新年度も様々な活動を計画していきます。4月11日から毎週木曜日、15時から土樋キャンパス礼拝堂で練習しています。いつでもいらしてください。東北学院の歌声を未来へと繋げるため、チャレンジを続けてまいりましょう!

聖歌隊活動の最新情報はTwitterに反映させますので、ぜひご覧ください。 @choir\_gakuin

## 「木曜午後は、TGCF♪」

ティージー シー エフ  
**T G C F (Tohoku Gakuin Christian Fellowship)** は、  
 一人一人の「つながろう・まじわろう」を応援しています！



東北学院大学におけるキリスト教活動は、毎日の大学礼拝の他、宗教部の先生方が昼休みに行う聖書やキリスト教の学び、聖歌隊の活動などがありますが、五橋キャンパスの開業に合わせて、オール東北学院の交流の集いとして、新たにTGCFも始動しました。

2023年度の大学での活動は、English Café(国際交流・学部間交流)、ミュージックサービス(学生による讃美演奏やメッセージ)と交わり、学生企画交流会(ゆるかふえ×ボードゲーム)などが、木曜日の午後に行われました。

English Caféは、仙台在住の宣教師の方を講師としてお招きし、学内留学のような時間となりました。1年生から4年生、全学部から参加していただき、英語のゲームやグループに分かれての活動、カフェタイムの自由な英会話のひとときを楽しみました。



ミュージックサービスでは、学生の方々による音楽礼拝が行われました。普段の大学礼拝とは違い、学生の方々が聖書の話しやメッセージを担当し、ワーシップソング(「ポップのような讃美歌」)のバンド演奏と讃美を献げました。また礼拝後の交わりは、ちょっとした教会の雰囲気を経験できる機会となりました。

学生企画の交流会は、「誰でも集える場所・みんながほっとできる時間」をテーマに、大学1年生から大学院生まで、新しい出会いの場となりました。入退出自由で、わいわいゲームをしながらの自己紹介。のんびり、ゆるっと、出会いを楽しむイベントは、新企画も募集中です。



また毎月の活動とは別に、ニューヨークからの同世代の方々との交わりが行われた夏休みイベント、John Lucas氏を講師に招いたゴスペルワークショップ、国際交流課の方々と共に開催して頂いたクリスマスイベントなど、それぞれの賜物を生かした特別企画も行われました。

東北学院クリスチャンフェローシップの活動は、五橋宗教センター(押川記念館3F)、各キャンパスの掲示板、SNS、宗教センターホームページ等でご案内していますので、どなたでも、お気軽にご参加下さい。

(東北学院宗教センターチャプレン 佐藤 由子)



宗教センターHP



TGCF  
 インスタグラム



TGCF  
 X (旧Twitter)

# 大学礼拝について

## 基本的なことを知っておこう

東北学院大学では、講義のある日は大学礼拝を毎日行っています。これは創立した時から現在にいたるまで不変であり、「建学の精神」の具体的な現れです。新入生も在校生も大学礼拝の大切さを知って、午前中にキャンパスにいる時には積極的に出席しましょう。本学での学びに欠かせない「軸」であり、「養い」です。大学礼拝は教会の礼拝よりも短く設定され、学生の皆さんを対象に準備されています。

なお、音楽礼拝や英語礼拝など多少変則的なスタイルの礼拝も行っていますが、大学礼拝の基本的な進行内容をお伝えします。

3

### 【聖書】

*Bible*

司会者が聖書を開くように指示します。礼拝堂に早く来た人は、あらかじめ開いて読んでおくことをお勧めします。聖書は旧約聖書と新約聖書で構成されています。それぞれに頁数が付されていますのでよく確認してください。聖書には、人が生きていく上で必要なたらべてのことが網羅されていると受け止められてきましたので、一語一句、大切な教えとして聞くように心がけましょう。

2

### 【讃美歌】

*Hymn*

司会者が讃美歌の番号を告げます。起立して、心をこめて、声高らかに、一緒に讃美歌を歌いましょう。歌詞を味わうことも大切です。そのうち、自分の好きな讃美歌もできるでしょう。

1

### 【前奏】

*Prelude*

第1校時が午前10時15分に終わるとチャイムが鳴り、礼拝堂ではオルガンの前奏が始まります。礼拝堂の最前列から順に着席して下さい。私語は慎み、電子機器はしまって、心を静めて礼拝に備えましょう。

6

### 【頌栄】

*Congregational Response*

神の栄光をたたえる短い讃美歌です。頌栄の後、黙祷を捧げます。

5

### 【祈祷】

*Prayer*

司会者は、聖書を説いた後、神の恵みと平安、導きを願う祈りを捧げます。祈りの最後に、司会者と出席者全員で「アーメン」と言います。「そのとおり」の意味です。祈りをみんなで共有する思いで、「アーメン」と唱和しましょう。讃美歌を歌った後の「アーメン」も同じ意味です。

4

### 【説教】

*Treaching*

司会者は、本学の宗教部の先生たちやクリスチャンの先生方であり、教会の牧師の方々が担当される日もあります。どの人も、その日に朗読した聖書に基づいて話されます。一般に「説教」というと、「叱られている」という意味もありますが、「礼拝の説教は、「聖書を説いて教える」とことと理解してください。大切なことは、聖書の「福音を聴くことであり、人類への「神の貴い愛」を知ることです。



7

### 【後奏】

*Postlude*

オルガンの後奏は、「世へ派遣を意味し、皆さんを礼拝堂から新しい一日へ送り出します。



**田島卓先生**（大学宗教主任）  
 専門は旧約聖書です。日々の礼拝で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



**椎名雄一郎先生**（大学宗教主任）  
 キリスト教音楽、とりわけJ・S・バッハのオルガン作品研究をしています。礼拝ではみ言葉、そして神様の創造された音楽を共に聴いていきましよう。



**川島堅二先生**（大学宗教主任）  
 専門は近代キリスト教思想の研究。カルトなど社会問題化する宗教の研究や調査もしています。



**大門耕平先生**（大学宗教主任）  
 学校教育について研究と実践を行います。聖書の言葉を知り、考える時間を共有できることを楽しみにしています。



**原田浩司先生**（宗教部長）  
 専門はスコットランドの宗教改革と神学です。講義以外でも、大学礼拝をとおして聖書の言葉の豊かさやキリスト教の教えの魅力に、多くの学生の皆さんに触れていただきたいと思います。

## 東北学院大学宗教部教員のご紹介



**今井奈緒子先生**（大学オルガニスト）  
 教養教育センター教員として、キリスト教音楽や音楽史、オルガン演奏を教えています。音楽礼拝では、優れた讃美歌やオルガン曲を紹介します。



**木村純二先生**（総合人文学科長）  
 日本の思想や文学を専門にしています。大学礼拝で心を静めて自分と向き合う時間を大切にしてください。



**渡邊蘭子先生**（大学宗教主任）  
 専門は古代・中世のキリスト教思想で、特にアウグスティヌスの思想を研究しています。共に聖書の言葉をじっくりと味わってほしいと思います。



**渡辺有美先生**（大学宗教主任）  
 初期イタリャ・ルネサンス美術が専門です。全ての良きものをくださる神様とともに見上げて行きましよう。



**吉田新先生**（大学宗教主任）  
 専門は新約聖書です。東北学院のキャンパスで多くの思い出を作ってください。



**藤野雄大先生**（大学宗教主任）  
 専門は、アメリカ教会史。東北学院で豊かな学びがなされますよう、お祈りしております。

## 第19回

# 「学生のためのオルガン公開講座」のお知らせ

大学オルガニスト **今井 奈緒子**  
礼拝オルガニスト **小野 なおみ**

### ◆ 場所

● 土樋キャンパス  
ラーハウザー記念東北学院礼拝堂  
● 五橋キャンパス 押川記念ホール

### ◆ 受講料

年間一五、〇〇〇円

### ◆ 期間

五月〜十二月(レッスンは月一回ペースで実施。その他自主練習、演奏会準備)

### ◆ 募集人数

各キャンパスにつき若干名

### ◆ 講師

今井奈緒子(教養教育センター教授、大学オルガニスト)  
小野なおみ(礼拝オルガニスト)

### ◆ ガイダンス開催日

受講希望者は所属キャンパスに拘わらず、五月九日(木) 十六時に、五橋キャンパス宗教音楽研究所事務室(押川記念館3階)へおいでください。ガイダンスの後に受講の意思確認をし、講師との顔合わせ、レッスン日の相談、調整等を行います。  
出席不可能な場合は事前に宗教音楽研究所までご連絡ください(022-354-8312)。なお、希望者多数の場合は相談、抽選ないし後日オーディションをさせていただきます場合があります。

### ◆ 受講資格

・ 楽譜を読むことができ、鍵盤楽器の演奏に多少なりとも心得があること  
・ レッスン、練習に励む意欲があること

### ◆ 対象

本学に在籍する学生  
(所属学部、学部生・大学院生を問わず)

### ◆ 内容

オルガンの奏法と作品を学ぶ  
(個人またはグループレッスン形式)  
ガイダンスと修了演奏会を実施します。

## 礼拝オルガニストのみなさん 2024年度

以下の方々が日々の礼拝奏楽をご担当されます。

先生 奈緒子  
先生 枝和  
先生 理真  
先生 小野  
先生 原司  
先生 山渡  
先生 井田高泉  
先生 今石



礼拝の奏楽をもって、皆様を日々の学生生活へ送り出してくれます。ぜひ、オルガンの音色を聴きに、礼拝会場へお越しください。

## 宗教部 聖歌隊へのお誘い

みなさん、一緒に歌を歌いませんか。中学、高校とみんなで合唱する楽しさを味わった人は大勢いると思います。大学でもぜひ一緒に楽しく歌いましょう。本学の「聖歌隊」は、長く親しまれてきた合唱曲や宗教音楽、また讃美歌を歌い、定期演奏会で発表したり、クリスマスにメサイアを歌ったり、と楽しい企画が幾つもありません。指揮者、ボイストレーナーの先生がしっかり指導してくれます。

歌うことの好きな方は大歓迎です。  
今年度の第一回は、四月十一日(木)の午後三時より、土樋キャンパスラーハウザー記念東北学院礼拝堂にて実施いたします。  
是非、参加しましょう。

## 編集後記

二〇二四年度は五橋キャンパスの開業から二年目を迎えます。二〇二三年度の一年間をとおして、特に高層棟のシユネーダー記念館は仙台のランドマークの一つとして認知されてきたものと思われまふ。

さて、五橋では押川記念館のホールで、また土樋では、国から歴史ある重要文化財に認定されたラーハウザー記念東北学院礼拝堂で、午前の一限目の講義の後、十時十五分から二カ所同時に大学礼拝が行われています。この時間は、学生の誰もが出席できるよう、大学の学生向け業務が一時停止します。

荘厳なパイプオルガンの奏楽に静かに耳を傾け、聖書の言葉を、今日の文脈において解き明かす説教の話を傾聴する、東北学院大学の大切な時間です。学生の皆さんは是非奮って礼拝会場に足を運びましょう。

二〇二四年四月一日  
編集 東北学院大学宗教部  
〒九八〇-八五一  
仙台市青葉区土樋二丁目三番一号